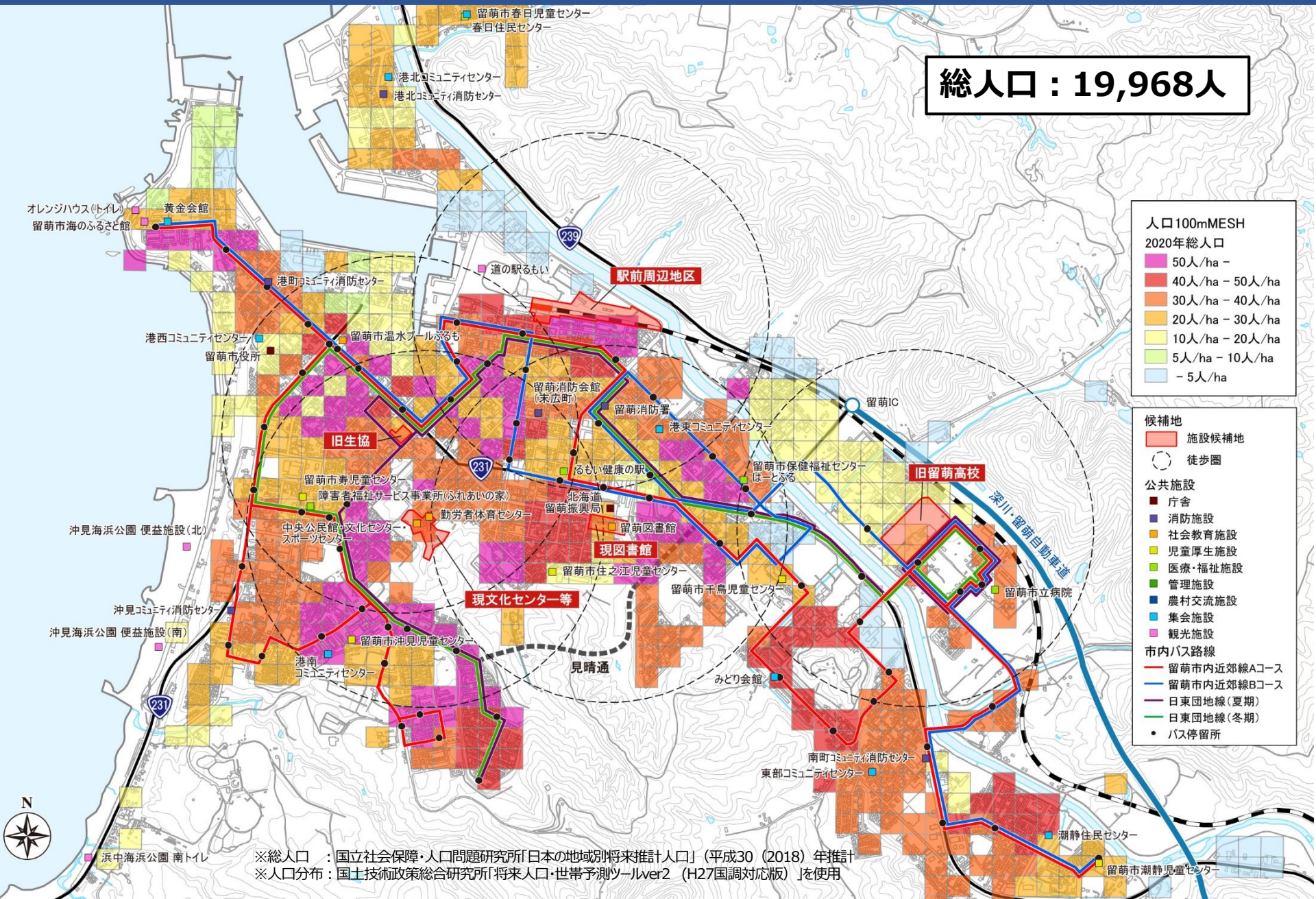
資料４

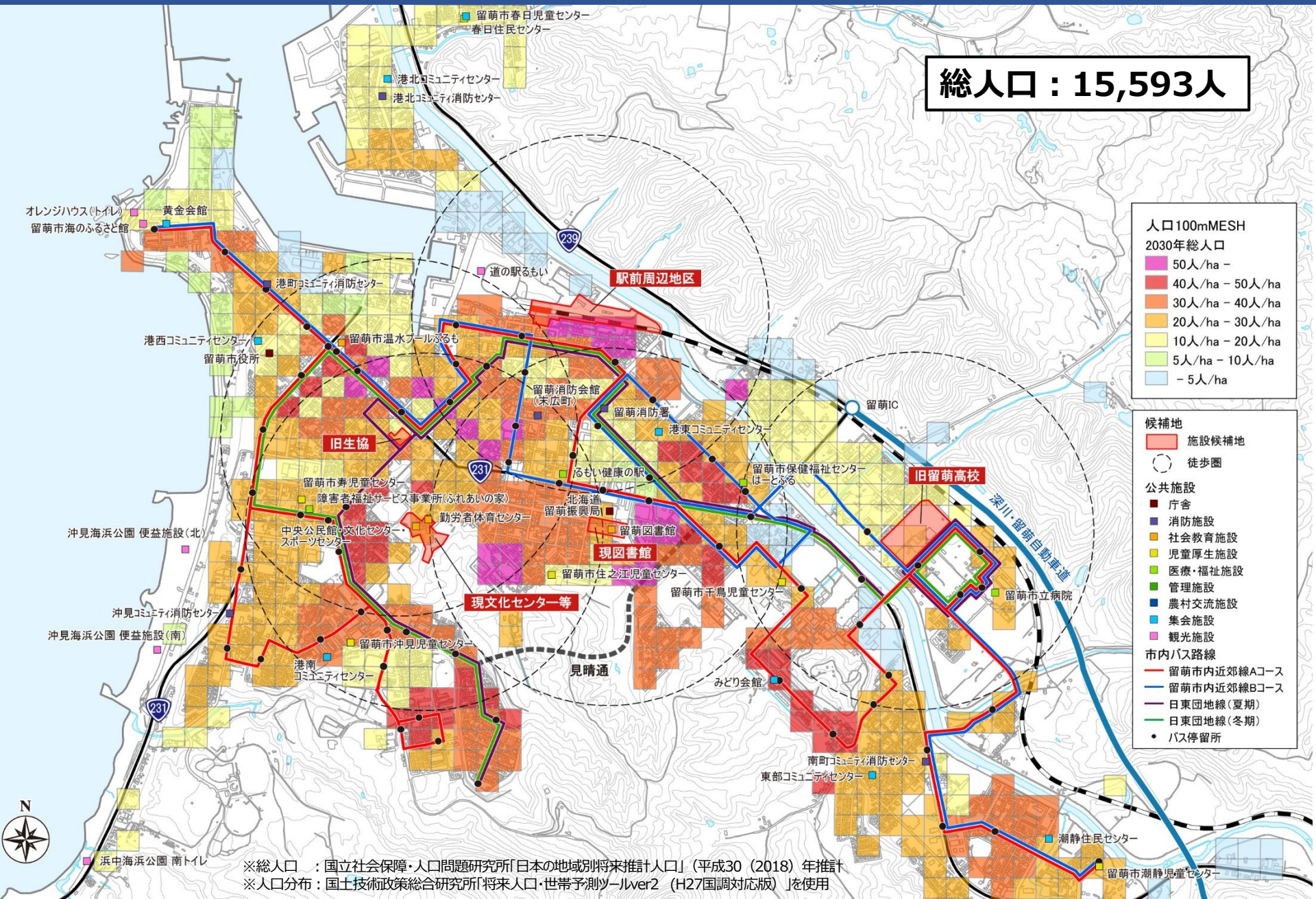
候補地検討に係る資料

人口分布（2020年）



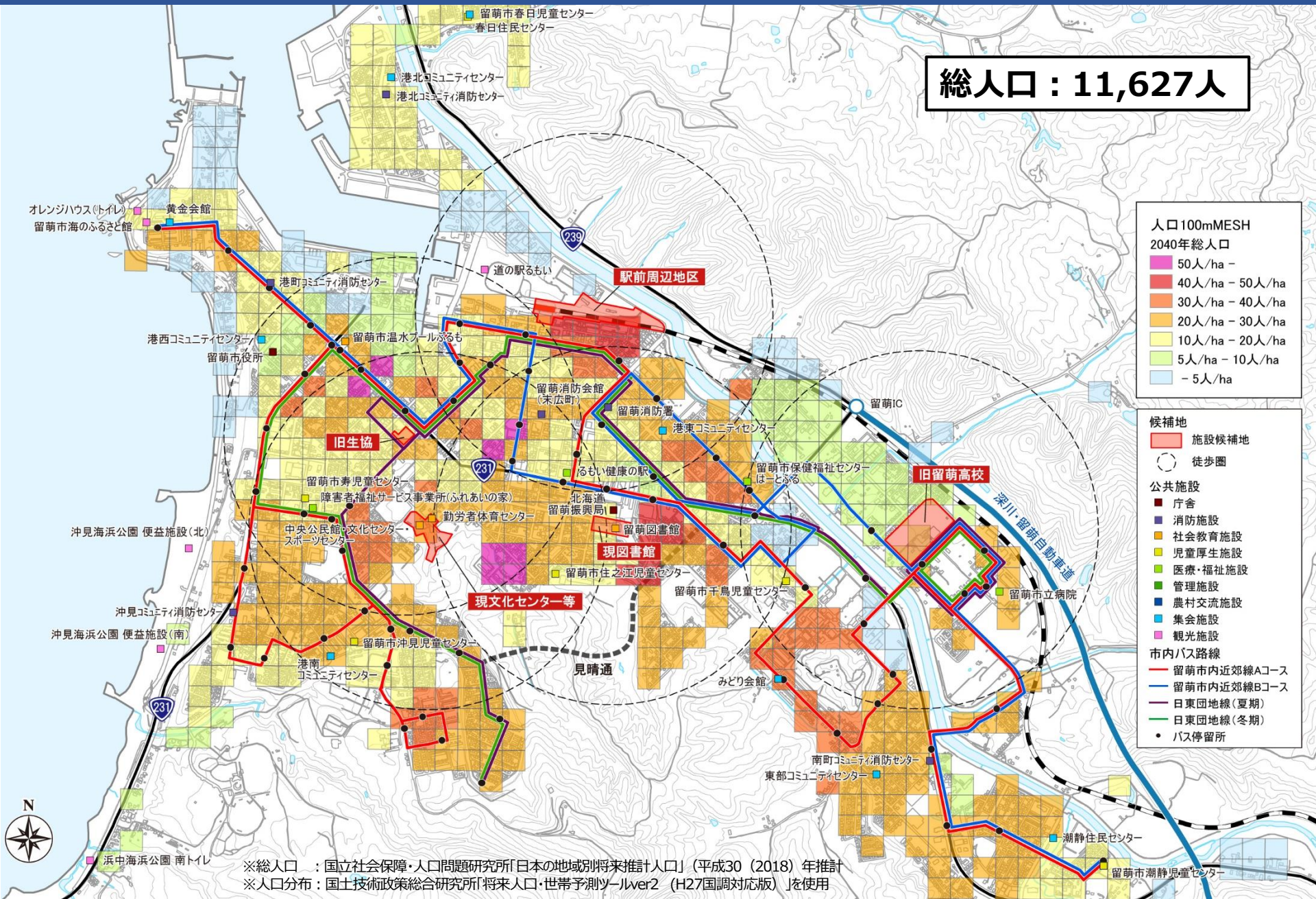
※総人口　：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成30（2018）年推計
※人口分布：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールver2（H27国調対応版）」を使用

人口分布（2030年）



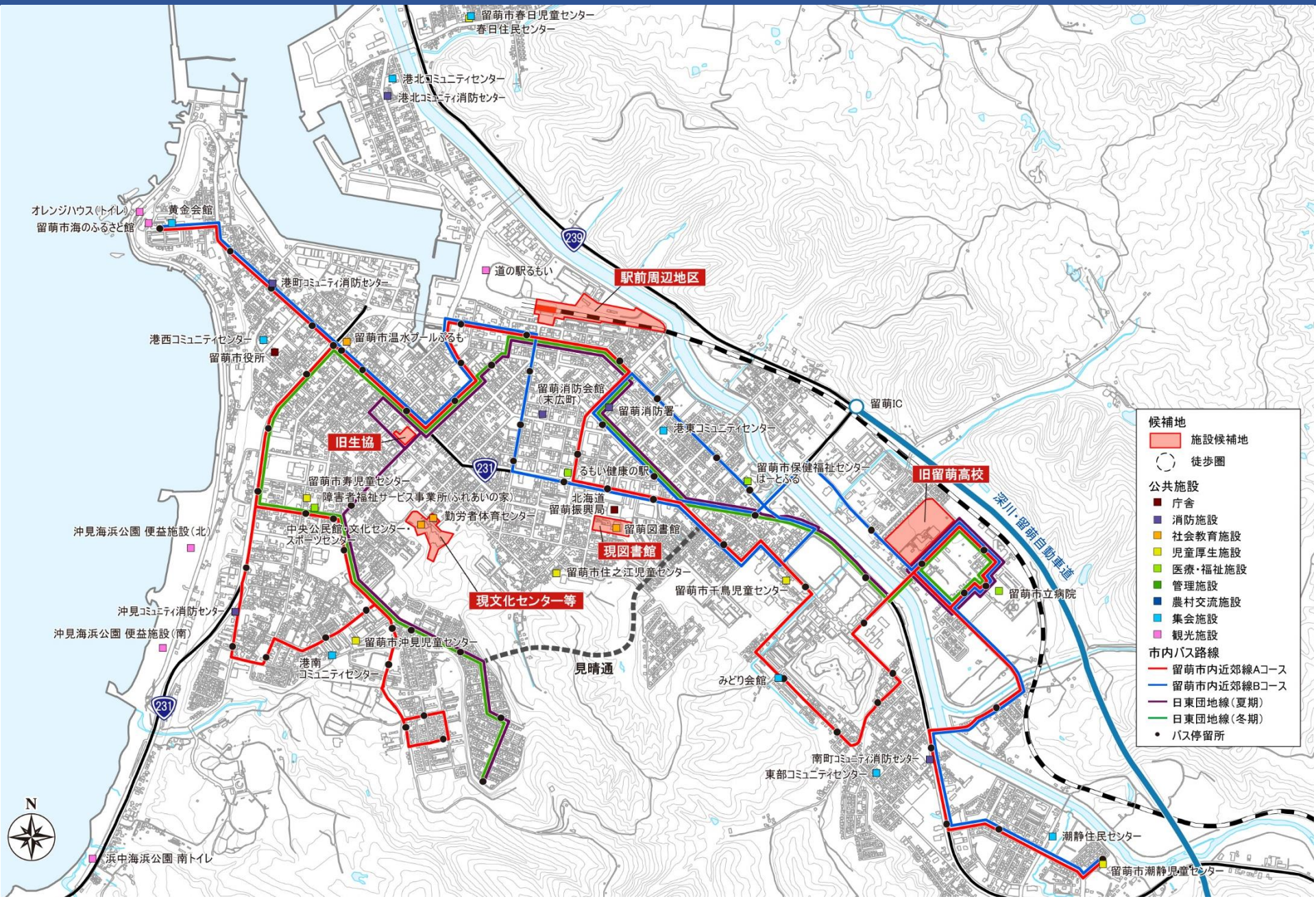
※総人口　：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成30（2018）年推計
※人口分布：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールver2（H27国調対応版）」を使用

人口分布（2040年）

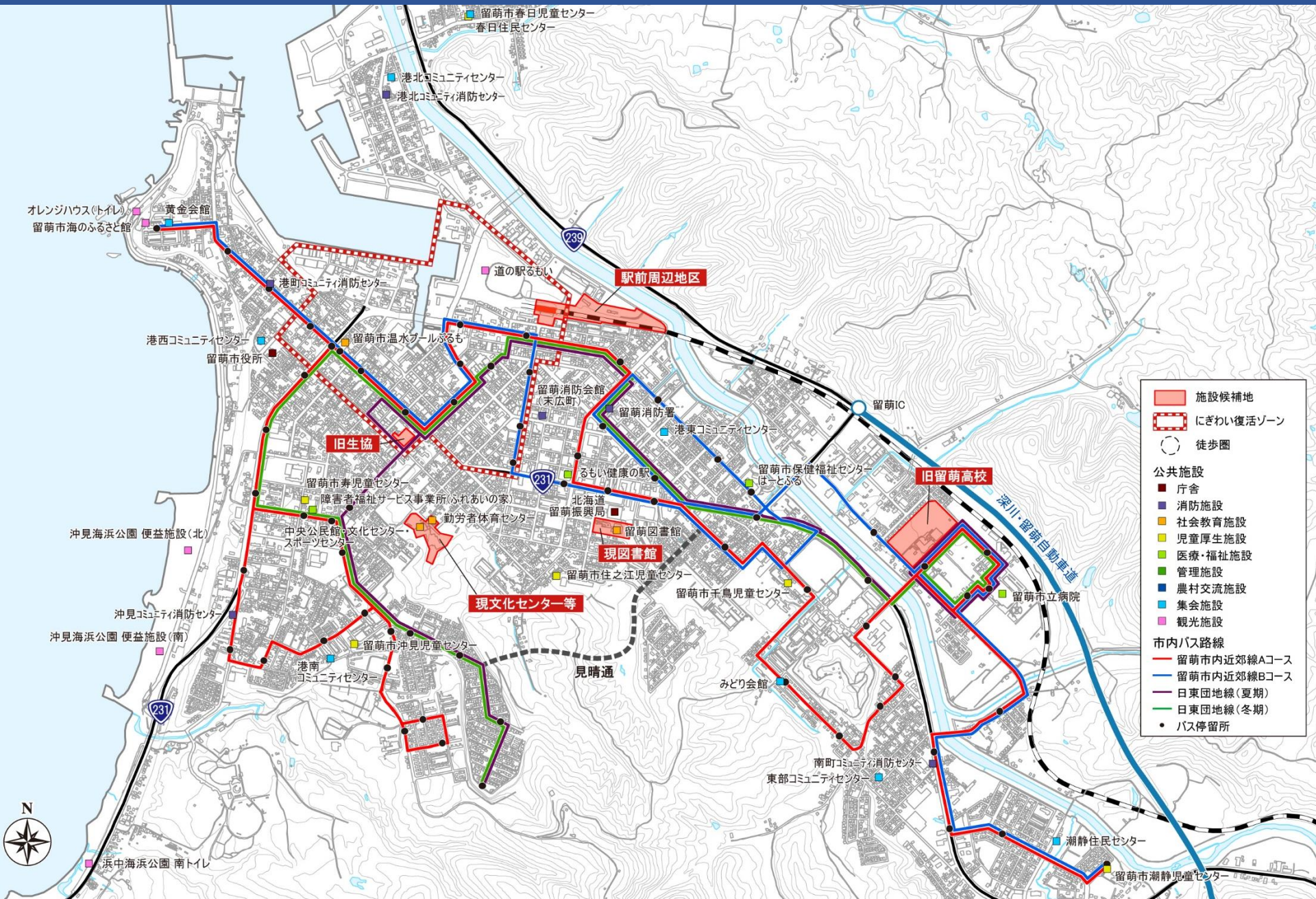


※総人口　：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成30（2018）年推計
※人口分布：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールver2（H27国調対応版）」を使用

公共施設・バス路線の状況



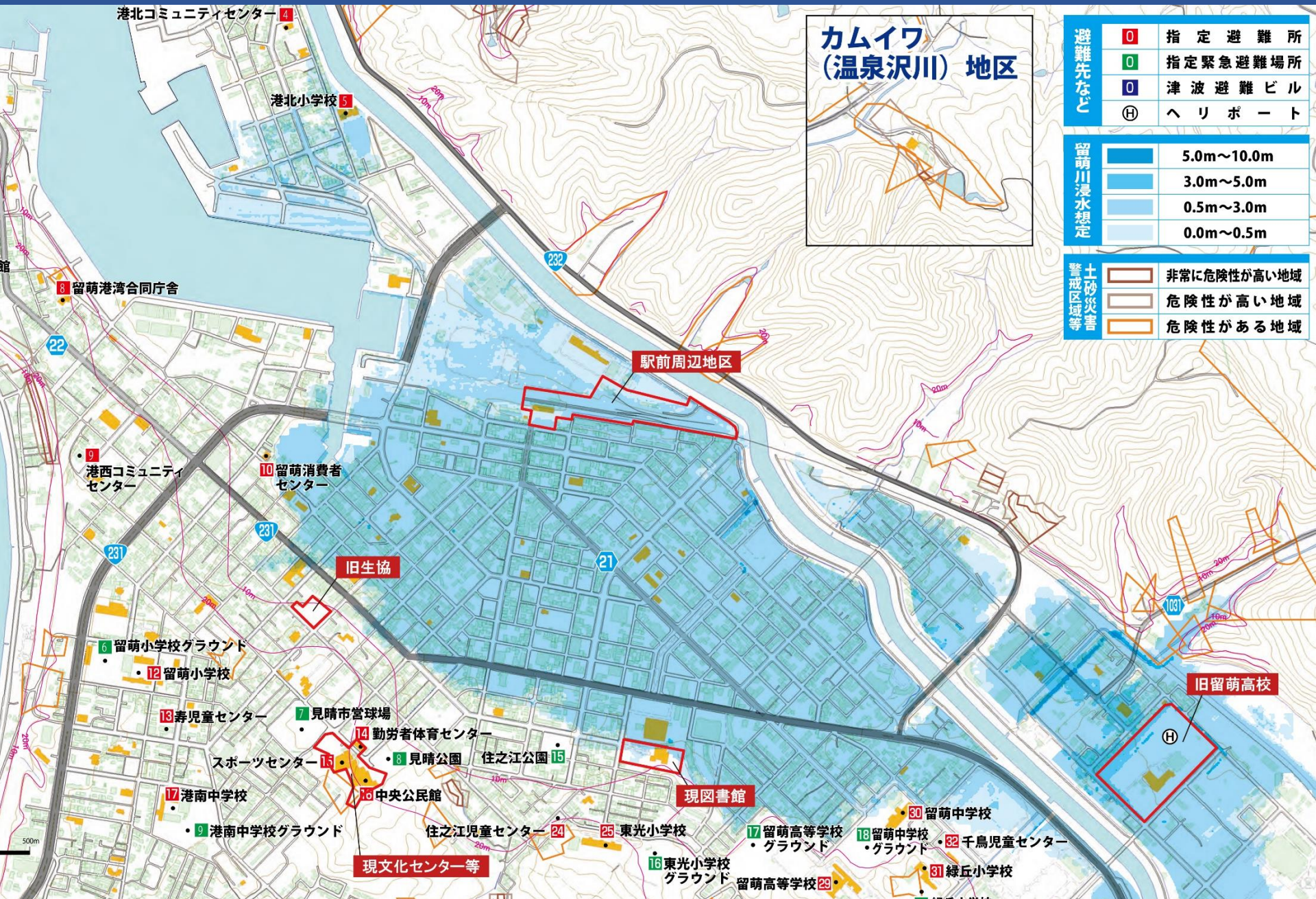
都市計画マスタープランにおける「にぎわい復活ゾーン」



津波浸水想定

カムイワ（温泉沢川）地区
避難先など
0 指定避難所
0 指定緊急避難場所
0 津波避難ビル
Ⓗ ヘリポート
津波浸水想定
5.0m～10.0m
3.0m～5.0m
1.0m～3.0m
0.0m～1.0m
土砂災害警戒区域等
非常に危険性が高い地域
危険性が高い地域
危険性がある地域
元町市営住宅58-2-4 1
元町市営住宅59-2-4 2
8 留萌港湾合同庁舎
末広町公営住宅ポプラB 5
末広町公営住宅ポプラA 4
公務員宿舎503 8
駅前周辺地区
6 公務員宿舎501
7 公務員宿舎502
9 港西コミュニティセンター
3 錦町公営住宅
旧生協
26 港東コミュニティセンター
27 堀川町内会館
五十嵐町市営住宅リラA 10
6 留萌小学校グラウンド
12 留萌小学校
るもい健康の駅 23
五十嵐町市営住宅リラB 11
保健福祉センター はーとふる 28
旧留萌高校
13 寿児童センター
7 見晴市営球場
9 北海道留萌合同庁舎（留萌振興局）
現文化センター等
8 見晴公園
住之江公園 15
20 旧留萌高等学校グラウンド
現図書館
17 港南中学校
住之江児童センター 24
30 留萌中学校
9 港南中学校グラウンド
25 東光小学校
32 千鳥児童センター
17 留萌高等学校グラウンド
18 留萌中学校グラウンド
13 千鳥町公営住宅メイプル2
12 千鳥町公営住宅メイプル1
16 東光小学校グラウンド
緑丘小学校 31
留萌高等学校 29
500m

洪水浸水想定


港北コミュニティセンター 4
港北小学校 5
カムイワ（温泉沢川）地区
避難先など
指定避難所
指定緊急避難場所
津波避難ビル
ヘリポート
留萌川浸水想定
5.0m～10.0m
3.0m～5.0m
0.5m～3.0m
0.0m～0.5m
土砂災害警戒区域等
非常に危険性が高い地域
危険性が高い地域
危険性がある地域
8 留萌港湾合同庁舎
駅前周辺地区
9 港西コミュニティセンター
10 留萌消費者センター
旧生協
6 留萌小学校グラウンド
12 留萌小学校
旧留萌高校
13 寿児童センター
7 見晴市営球場
14 勤労者体育センター
スポーツセンター 15
8 見晴公園
住之江公園 15
17 港南中学校
16 中央公民館
現図書館
9 港南中学校グラウンド
住之江児童センター 24
25 東光小学校
30 留萌中学校
17 留萌高等学校・グラウンド
18 留萌中学校・グラウンド
32 千鳥児童センター
16 東光小学校グラウンド
留萌高等学校 29
31 緑丘小学校
現文化センター等
232
22
231
21
103
500m

候補地の比較表

候補地		駅前周辺地区	現文化センター等	現図書館	旧留萌高校	旧生協
所在地		船場町２丁目　他	見晴町２丁目	住之江町２丁目１	東雲町１丁目	錦町３丁目
土地所有者		留萌市、JR北海道	留萌市	留萌市	北海道	民間
面積		約42,000㎡	約17,000㎡	約12,000㎡	約53,000㎡	約4,000㎡
用途地域		商業地域 準工業地域	第2種中高層住居 専用地域	第2種住居地域	第1種住居地域	商業地域 第1種住居地域
現在の状況		JR留萌駅 駅前広場 鉄道用地 船場公園	中央公民館 文化センター スポーツセンター 勤労者体育センター 駐車場	図書館	旧校舎 グラウンド	更地
防災	津波 浸水想定	一部0.0～1.0m （駅北側、駅西側）	なし	なし	なし	なし
	洪水 浸水想定	0.5～3.0m 一部0.0～0.5m （駅前広場付近）	なし	一部0.0～1.0m （敷地東側）	0.5～3.0m 一部3.0～5.0m （敷地北西側）	なし
	土砂災害 警戒区域	なし	「危険性がある地域」に隣接	なし	なし	なし
徒歩圏 人　口 ※半径 800m	2020年	3,235人	6,618人	5,368人	1,377人	6,162人
	2030年	2,516人	5,139人	4,254人	1,105人	4,770人
	2040年	1,903人	3,813人	3,226人	870人	3,537人
交通	最寄りバス停 ※最も近い敷地端からの道路距離	留萌駅前 （約70m）	ツルハ留萌西店前 （約390m）	留萌合同庁舎前 （約220m）	東雲２丁目 （約0m）	錦町 （約190m）

候補地の比較表

	駅前周辺地区	現文化センター等	現図書館	旧留萌高校	旧生協
メリット	○広域的な集客拠点である道の駅、船場公園との連携が可能であり、市の中心拠点となることが期待される。 ○駅前商店街との連携による中心市街地の活性化が期待される。 ○バス交通の拠点であり、バスによるアクセス性が高い。 ○土地取得等において、JR北海道の支援が期待される。	○近くに野球場やテニスコートがあり、体育機能の集約が維持される。	○図書館を含めた社会教育機能が集約できる。	○市立病院が隣接しており、バスによるアクセス性が高い。 ○敷地面積はもっとも大きく、施設を整備する上で自由度が高い。	○三番街商店街とのによる中心市街地の活性化が期待される。 ○津波や洪水の浸水想定区域外である。
デメリット	●一部が津波想定区域内にある。 ●全域が洪水想定区域内にある。	●土砂災害警戒区域等（危険性のある地域）に隣接している。 ●現地建替えとなることから、建替期間中は、現施設の代替機能の確保が必要となる。 ●高台にあることから、自動車以外のアクセス性にやや難がある。 ●周辺には商店街等もなく、施設の集客効果の地域への波及は期待できない。	●一部が洪水想定区域内にある。 ●周辺には商店街等もなく、施設の集客効果の地域への波及は期待できない。	●一部が洪水想定区域内にある。 ●土地の取得及び既存校舎の解体が必要である。 ●周辺には商店街等もなく、施設の集客効果の地域への波及は期待できない。	●土地の取得が必要である。 ●敷地が狭く、施設整備の際に制約となる可能性ある。